研修コード： 937　　申込期限:R8.6.19

【オンライン】合同･簿記基礎

● **研修のねらい**

・地方公会計制度、公営企業会計及び各種法人会計の基礎知識となる簿記（簿記検定３級程度レベル）の基本的な知識を習得する。

● **この研修のおすすめポイント**

・水道や病院等の企業会計業務の担当になった
・法人・外部団体を指導する業務の担当になった
・簿記３級レベルの基礎を自治体実務に特化して２日間で解説。ｅラーニングと参考書も配付し、自主学習も応援します！
・関連する研修として「企業財務分析」があります。

● **日程**

令和８年９月３日（木）～９月４日（金）
※希望者には、ｅラーニング教材をあわせて提供します。(研修前～研修後までの計３か月)ただし、ｅラーニング（約３～４時間（予定））を最後まで受講（修了テストを受検）できる方に限ります。

● **予定人員**

１００人（県４０人、市町６０人）

● **対象者**

（県・市町）希望する職員
※業務で複式簿記に接する機会のある職員。

● **講師（予定）**

≪東京リーガルマインド　小橋　仙敬≫
東京リーガルマインド講師。大手監査法人勤務を経て小橋公認会計士総合事務所入所。同所代表取締役。自治体職員研修「管理会計研修」「財務会計研修」などの講義を担当。

● **標準プログラム**

２日間　　合計１２．０時間
※本研修は、実務を理解するために必要となる会計･簿記の基礎知識の習得をねらいとしていますので、日商簿記３級の範囲を網羅しているわけではありません。知識のない方は、事前にｅラーニングを受講することを推奨します。

１日目　９：15 － ９：30　オリエンテーション
　　９：30 － 16：30　・簿記の全体像・仕訳と転記
２日目　９：30 － 16：30　・決算整理・実務応用仕訳
　　16：30 － 16：45　閉講

◇受講者の声

・丁寧に説明いただき、演習も多かったため、とてもわかりやすかったです。
また、実務で必要なポイントも補助レジュメや決算書などで効率的に説明いただけたのでよかったです。
・売掛金がどういうものなのかを理解でき、通常の業務でも出てくるので書類をより深くまで目を通すことが期待できる。